

院内トリアージ実施基準について

第1版 2019年03月25日
第2版 2022年05月08日
第3版 2024年04月01日

当院では受診された患者様に対して院内トリアージを実施しております。
患者様来院後速やかに、担当の看護師が緊急度を判定させていただき高い場合は優先的に診察を受けていただける体制を取っております。
重症度の高い患者様は、お待ちの患者様より先に、診察を受けていただく場合がございます。
緊急度が低い場合におきましては重症度の高い患者様より診察が前後する場合がございます。
ただしトリアージに関しましては初回の評価から一定時間後に再評価を行い、待ち時間中に再度状態等悪化の場合においては診察が再度前後する場合がございます。
当院ではこの取り組みの評価として厚生労働省が定めた『院内トリアージ実施料』を届出しております。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

トリアージの流れ



院内トリアージ緊急度判定基準(JTAS 緊急判定レベル)

蘇生	直ちに診察・治療が必要	心停止 重症外傷 けいれん持続 高度な意識障害 重篤な呼吸障害 など	治療の継続
緊急	10分以内に診察が必要	心原性胸痛 激しい頭痛・腹痛 中等度の意識障害 抑うつ病、自傷行為など	15分毎の再評価
準緊急	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧 けいれん後の状態(意識は回復) 変形のある四肢外傷 中等度の頭痛・腹痛など	30分毎の再評価
低緊急	1時間以内に診察が必要	尿路感染症 縫合を必要とする創傷(止血済み) 不穏状態など	1時間毎の再評価
非緊急	2時間以内に診察が必要	軽度のアレルギー反応 縫合を要さない外傷 処方・検査希望など	2時間毎の再評価

JTASの緊急度判定は青・赤・黄・緑・白の5段階に分類される。

青は緊急度が最も高く、直ちに診察及び治療が必要と判定される。

赤は緊急度で10分以内に診察が必要なレベルとされ、15分毎の再評価を行う。

黄は準緊急で、30分以内に診察が必要なレベルで、再評価は30分ごとに行う。

緑は低緊急で1時間以内に診察が必要なレベルで、再評価は1時間毎に行う。

白は非緊急で、2時間以内に診察が必要とされている。再評価は2時間毎に行う。

